

火災・救急・救助概要

平成22年



宝塚市消防本部

目 次

I 火災の概要

1	火災の発生状況	1
2	火災覚知種別の状況	4
3	火災覚知等から現場到着までの所要時間	4
4	初期消火状況	5
5	署所別火災発生状況	5
6	月別・時間別火災発生状況	6
7	出火原因	7
8	その他の出動状況	8
9	火災発生件数の推移	8

II 救急の概要

1	救急事故種別出場状況	9
2	傷病程度別搬送状況	10
3	署所別出場状況	11
4	医療機関別搬送状況	12
5	年齢区分別搬送状況	13
6	月別・曜日別出場状況	14
7	救急出場件数の推移	15

III 救助の概要

1	救助事故種別出場状況	16
2	発生場所別活動件数・救助人員状況	17

I 火災の概要

1 火災の発生状況

(1) 火災件数

平成22年中の火災の発生状況は表-1・2・3のとおりで、総件数は25件であり、前年と比較すると20件減少しました。

火災種別ごとでは、建物火災は16件で前年と比べ7件の減少、車両火災は前年と同じく5件、その他の火災は4件で前年と比べて12件減少しました。

林野火災は平成元年以来の発生無しで、0件でした。

(2) 焼損棟数・面積等

建物火災での焼損棟数は、24棟で前年より10棟減少しました。

全焼棟数は2棟で前年より1棟減少し、半焼棟数は4棟で1棟増加、部分焼棟数は5棟で前年より4棟の減少、ぼや棟数は13棟で前年より6棟減少しました。

焼損面積等については、建物火災で発生件数、焼損棟数が減少したことから、焼損面積は288㎡で106㎡減少、焼損表面積は18㎡増加しました。

車両火災の焼損台数は5台で、前年と比べて1台減少しました。

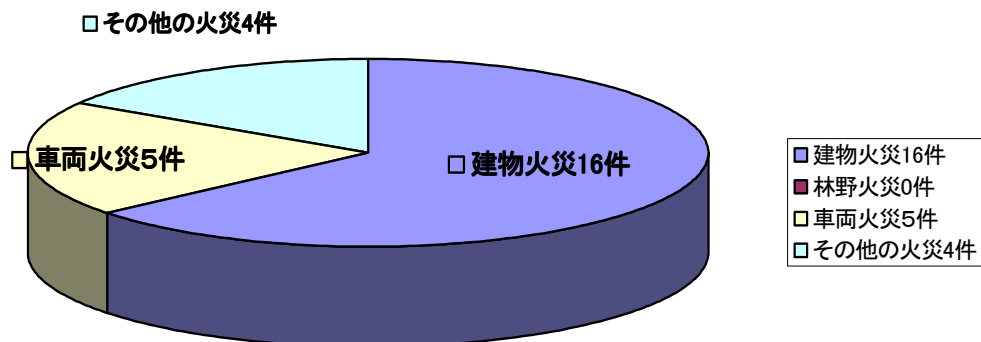
(3) 死傷者

平成22年中の火災による死者は2人発生し、前年と同じでした。

負傷者は8名発生し、前年と比べ2名増加しました。

表-1

【火災種別件数】
火災件数25件



【前年との対比1】

表-2

区 分		単 位	平成22年 (A)	平成21年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
出 火 件 数			25	45	△ 20
火 災 種 別	建 物	件	16	23	△ 7
	林 野		0	1	△ 1
	車 両		5	5	0
	そ の 他 の		4	16	△ 12
焼 損 棟 数	合 計	棟	24	34	△ 10
	全 焼		2	3	△ 1
	半 焼		4	3	1
	部 分 焼		5	9	△ 4
	ぼ や		13	19	△ 6
爆 発 損 害 棟 数			0	0	0
焼 損 面 積	建 物	m ²	288	394	△ 106
	建 物 表 面 積	m ²	34	16	18
	林 野	a	0	2	△ 2
	車 両	台	5	6	△ 1
り 災 世 帯 数	合 計	世 帯	20	26	△ 6
	全 損		2	5	△ 3
	半 損		4	3	1
	小 損		14	18	△ 4
り 災 人 員		人	49	61	△ 12

(注) △は減少を示す。平成22年数値は概算値を含んでおり、確定値ではありません。

【前年との対比2】

表-3

区 分		単 位	平成22年 (A)	平成21年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)
死 者			2	2	0
負 傷 者	30日死者	人	0	0	0
	重 症		2	1	1
	中 等 症		3	1	2
	軽 症		3	4	△ 1
出 動 車 両	合 計	台	126	156	△ 30
	消 防 署		114	148	△ 34
	消 防 団		12	8	4
出 動 人 員	合 計	人	554	596	△ 47
	消 防 署		474	527	△ 53
	消 防 団		80	69	11
建 物 火 災 一 件 当 たり	建 物 焼 損 面 積	m ²	18.0	17.4	0.6
	焼 損 棟 数	棟	1.5	1.6	△ 0.1
	り 災 世 帯	世帯	1.3	1.2	0.1
	り 災 人 員	人	3.1	2.7	0.4
林 野 火 災 一 件 当 たり	焼 損 面 積	a	0	2	△ 2
出 火 率		件	1.1	2.0	△ 0.9

(注) ※ 火災により負傷した後48時間以内に死亡したものは火災による死者とし、負傷者のうちで火災に起因する原因により48時間を経過して30日以内に死亡した者を「30日死者」とする。

※ 出火率は人口1万人当たりの出火件数をいう。

(平成22年12月現在 宝塚市推計人口226,106人)

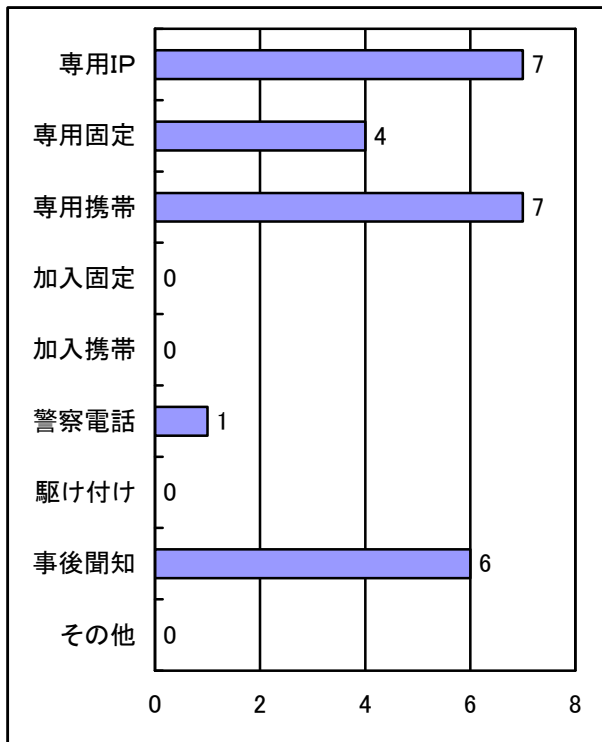
※ △は減少を示す。平成22年数値は概算値を含んでおり、確定値ではありません。

2 火災覚知種別の状況

平成22年中に火災を通報する種別で最も多かったのは、携帯電話及び専用IPからの119番通報で共に7件でした。

警察専用電話からの119番通報が1件ありました。

表-4 【火災覚知種別状況】



専用IP⇒固定電話（NTT加入電話を除く）からの119番通報
 専用固定⇒固定電話（NTT加入電話）からの119番通報
 専用携帯⇒携帯電話からの119番通報
 加入固定⇒固定電話からの消防本部固定局への通報
 加入携帯⇒携帯電話からの消防本部固定局への通報
 警察電話⇒警察専用回線からの119番通報
 駆け付け⇒消防機関へ電話以外の方法で直接通報されたもの
 事後聞知⇒火災が消えた後に通報されたもの
 その他⇒上記以外の通報

3 火災の覚知から現場到着までの所要時間

平成22年中に発生した25件の火災から、事後聞知の火災6件を除いた19件の火災について、119番通報を受信してから、出勤、現場到着までに要した時間の平均値は下表のとおりです。

表—5 【所要時間の平均値】

区 分	覚 知 ～ 出 動	出 動 ～ 現 着	覚 知 ～ 現 着
全 市 域	1 分 3 5 秒	4 分 3 8 秒	6 分 1 3 秒

※事後聞知を除く

※覚知＝指令時分

4 初期消火状況

平成22年中に発生した25件の火災のうち、初期消火が行われたのは16件で、初期消火により火災が消火できたのは8件でした。

表—6

【初期消火の実施件数】

消火種別	火災種別 【件数】	合計 【25件】	建物 【16件】	林野 【0件】	車両 【5件】	その他 【4件】
粉末消火器		4 (3)	3 (2)		1 (1)	
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた		11 (5)	9 (4)		2 (1)	
その他		1 (0)	1 (0)			
合計		16 (8)	13 (6)		3 (2)	0 (0)

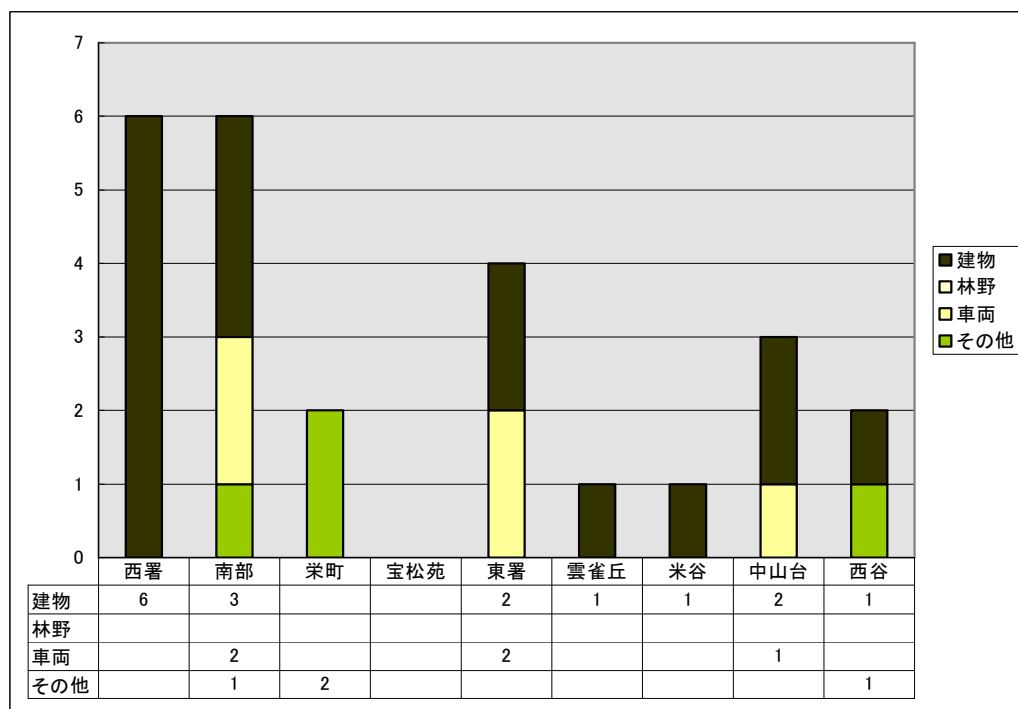
※ () 内の数字は初期消火に成功した件数を示す。

5 署所別火災発生状況

各署所の管轄、受持地区内で発生した火災件数は表—7のとおりで、宝松苑出張所受持地区では火災は発生していません。

表—7

【署所別火災発生件数】



6 月別・時間別火災発生状況

月別の火災発生状況は、7月、8月、9月に多く発生しています。

時間別発生状況は特に集中して発生した時間帯は無く、ほぼ平均化しています。

【月別・時間別火災発生件数】

表-8

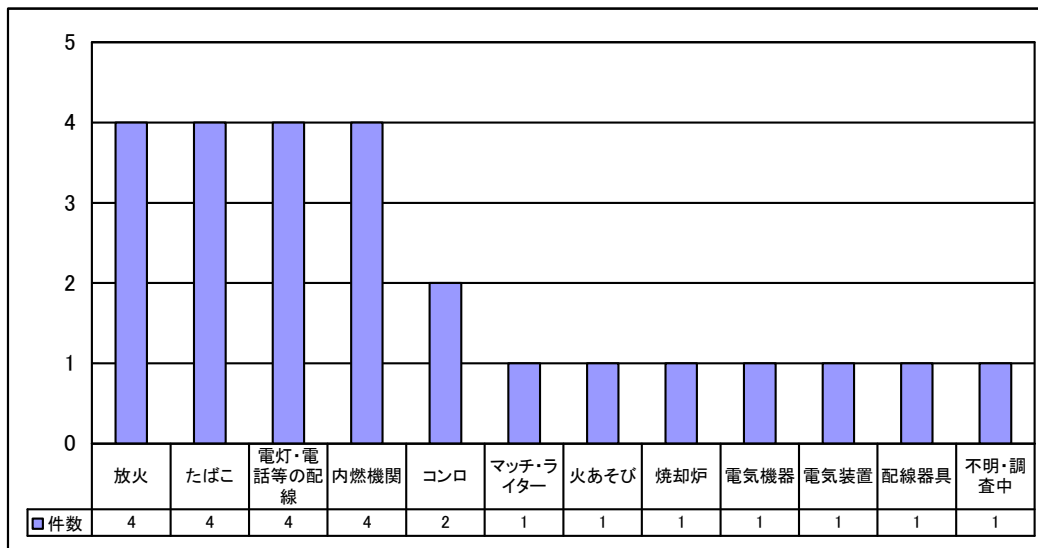
区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
建物	1	1	2	1			3	3	2		2	1	16	
林野													0	
車両		1						1	3				5	
その他の	1					1				1		1	4	
計	2	2	2	1	0	1	3	4	5	1	2	2	25	
0 ~ 1													0	4
1 ~ 2													0	
2 ~ 3		1				1	2						4	
3 ~ 4													0	
4 ~ 5	1												1	2
5 ~ 6											1		1	
6 ~ 7													0	5
7 ~ 8			1						1		1		3	
8 ~ 9								1	1				2	
9 ~ 10								1	1				2	3
10 ~ 11													0	
11 ~ 12								1					1	
12 ~ 13													0	3
13 ~ 14											1		1	
14 ~ 15									2				2	
15 ~ 16		1											1	4
16 ~ 17													0	
17 ~ 18	1						1	1					3	
18 ~ 19													0	
19 ~ 20													0	2
20 ~ 21			1									1	2	
21 ~ 22				1									1	2
22 ~ 23										1			1	
23 ~ 24													0	
不明													0	

7 出火原因

出火原因別では、放火、たばこ、電灯・電話等の配線、内燃機関が各4件で、放火は前年の19件と比較して大幅に減少しました。

【出火原因別火災件数】

表-9



【火災種別毎の原因件数】

表-10

出火原因	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
放火	4	2			2
たばこ	4	4			
電灯・電話等の配線	4	3		1	
内燃機関	4			4	
コンロ	2	2			
マッチ・ライター	1	1			
火あそび	1				1
焼却炉	1	1			
電気機器	1				1
電気装置	1	1			
配線器具	1	1			
不明・調査中	1	1			
合計	25	16	0	5	4

8 その他の出動状況

火災以外の災害等の出動状況は、表-11のとおり809件(前年746件)出場し、これは1日に約2.2件の割合で出動したことになります。

【その他の災害出動件数】

表-11

区分	合計	火災に至らず	誤報誤認虚報	防 災		警 戒	油流出	ガ ス 漏洩	特定 救急	他 市 応 援	捜 索	その他
				活動	巡視 警戒							
出動件数	809	35	5	15	128	200	52	2	325	30	4	13
出動台数	956	92	19	24	128	245	56	3	326	41	7	15
出動人員	3,719	334	67	79	495	942	218	12	1,330	161	25	56

※ 特定救急は、救急現場に消防車も同時出動することをいう。

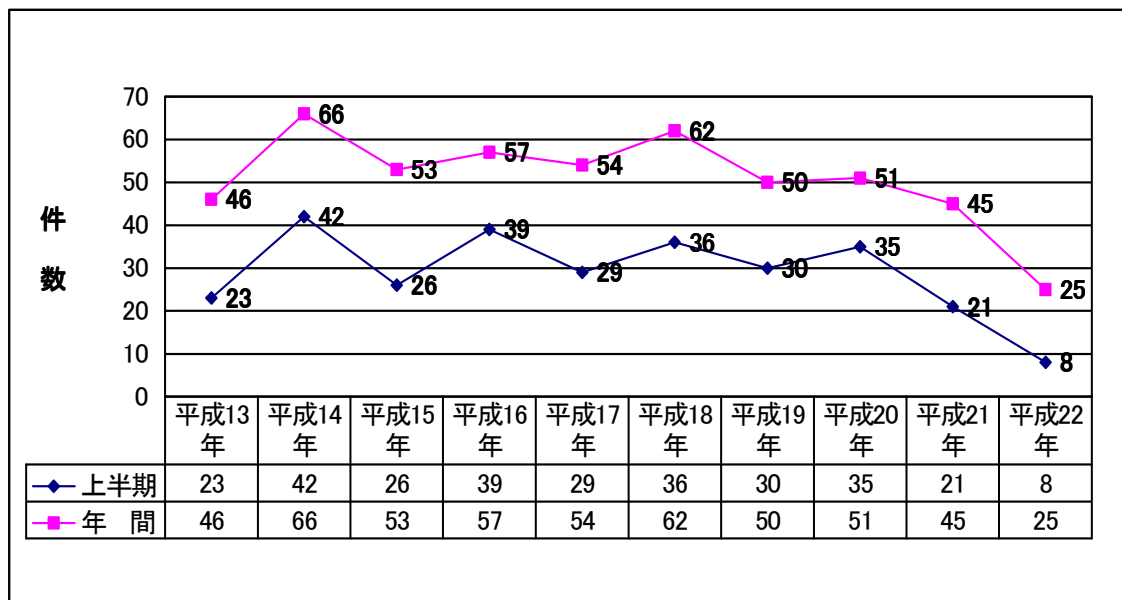
9 火災発生件数の推移(過去10年間)

火災の発生件数は25件で、昭和32年以来51年ぶりの20件台となりました。

過去10年間の発生の推移をみると50件を越えたのが、平成14年から平成20年までであり、平成14年と平成18年は60件台を超えていました。

【火災発生件数の推移(過去10年間)】

表-12



II 救急の概要

1 救急事故種別出場状況

平成22年中の救急出場件数は8,958件で、前年に比べ809件(9.9%)増加しました。これは、市内で1日平均24.5件の割合で救急出場したことになり、前年に比べ2.2件の増加となりました。

事故種別では、急病、一般負傷、交通事故が上位を占め、全体の89.5%を占め、特に急病は63.5%を占めています。

表-1 【前年との対比1】

区 分	平成22年 A	平成21年 B	増 減 A - B = C	増減率% (C/B) × 100
出 場 件 数	8,958	8,149	809	9.9
傷病者搬送件数	8,004	7,333	671	9.2
不搬送件数	954	816	138	16.9
火 災	26	28	△ 2	△ 7.1
自 然 災 害	0	0	0	-
水 難	2	0	2	-
交 通	776	751	25	3.3
労 働 災 害	39	36	3	8.3
運 動 競 技	22	30	△ 8	△ 26.7
一 般 負 傷	1,551	1,372	179	13.0
加 害	45	40	5	12.5
自 損 行 為	149	109	40	36.7
急 病	5,689	5,177	512	9.9
転 院 搬 送	624	575	49	8.5
医 師 搬 送	0	0	0	-
医 療 資 器 材	0	0	0	-
そ の 他	35	31	4	12.9
1 日 平 均	24.5	22.3	2.2	9.9
発 生 率	396.2	362.4	33.8	9.3
覚 知 ~ 現 場 到 着	7分44秒	5分31秒	2分13秒	40.2
覚 知 ~ 病 院 収 容	35分16秒	32分30秒	2分46秒	8.5

※ △は、減少を示す。

※ 発生率については、人口1万人当たりとする。(宝塚市推計人口226,106人・平成22年12月)

※ 覚知～現場到着・病院収容所要時間は、平成22年から覚知時間を入電時分からとしました。

2 傷病程度別搬送状況

平成22年中の病院への搬送人員は8,088人で、市民の28人に1人が救急車で運ばれたこととなります。

死亡、重症、中等症の傷病者は3,918人(48.4%)、入院の必要なしと診断された軽症の傷病者は4,169人で51.5%を占めています。

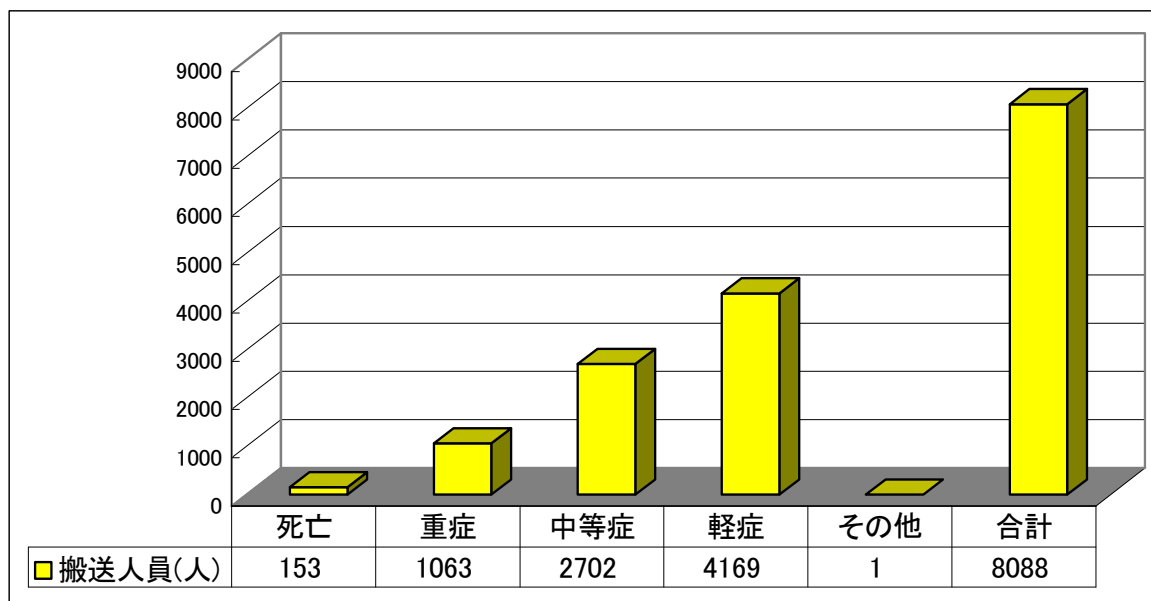
表-2-1 【前年との対比2】

区 分	平成22年 A	平成21年 B	増減 A-B=C	増減率% (C/B)×100	傷病程度					合計
					死亡	重症	中等症	軽症	その他	
搬送人員(人)	8088	7399	689	9.3	153	1063	2702	4169	1	8088
火 災	8	5	3	60.0	1	3	4	0	0	8
自 然 災 害	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
水 難	1	0	1	0.0	0	1	0	0	0	1
交 通	750	720	30	4.2	2	48	103	597	0	750
労 働 災 害	39	35	4	11.4	0	5	16	18	0	39
運 動 競 技	24	29	△ 5	△ 17.2	0	1	8	15	0	24
一 般 負 傷	1423	1267	156	12.3	36	241	271	875	0	1423
加 害	38	39	△ 1	△ 2.6	0	1	0	37	0	38
自 損 行 為	104	76	28	36.8	6	3	56	39	0	104
急 病	5079	4655	424	9.1	105	535	1907	2532	0	5079
そ の 他	622	573	49	8.6	3	225	337	56	1	622

※ △は、減少を示す。

※ 区分その他とは、転院搬送のためヘリコプターへの搬送を示す。

表-2-2 【傷病程度別搬送人員】



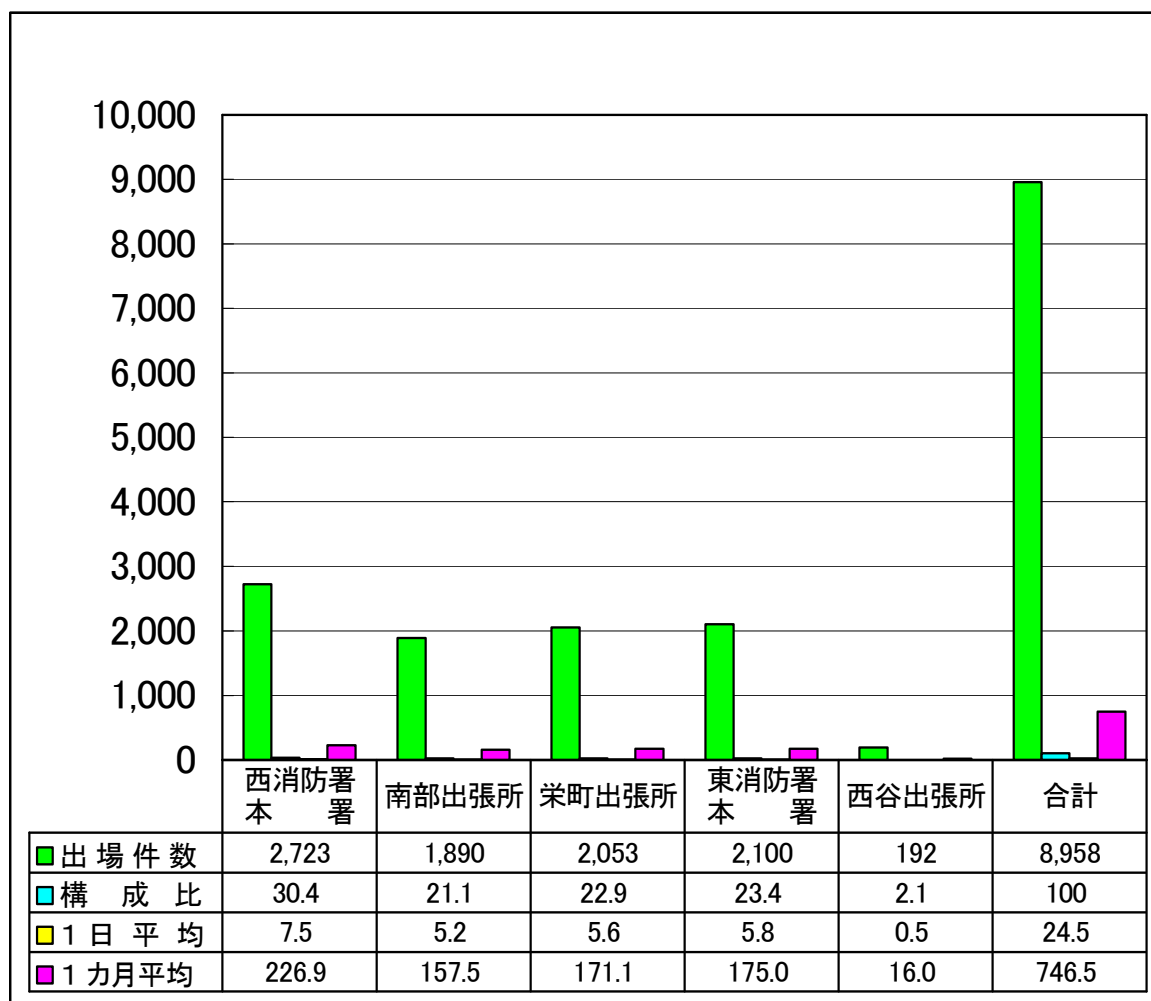
3 署所別出場状況

総出場件数8,958件のうち、西消防署(南部出張所、栄町出張所含む)が6,666件(74.4%)
東消防署が(西谷出張所含む)2,292件(25.6%)出場しています。

表-3-1 【署所別出動件数1】

区 分	合 計	西 消 防 署				東消防署		
		小 計	本 署	南 部 出張所	栄 町 出張所	小 計	本 署	西 谷 出張所
出 場 件 数 (件)	8,958	6,666	2,723	1,890	2,053	2,292	2,100	192
構 成 比 (%)	100	74.4	30.4	21.1	22.9	25.6	23.4	2.1
1 日 平 均 (件)	24.5	18.3	7.5	5.2	5.6	6.3	5.8	0.5
1 カ月平均 (件)	746.5	555.5	226.9	157.5	171.1	191.0	175.0	16.0

表-3-2 【署所別出動件数2】



4 医療機関別搬送状況

搬送状況を収容医療機関別に区分すると、搬送人員の86.3%を占める6,982人が救急告示病院に搬送され、1,103人がその他の医療機関に、3人がその他の場所に搬送された。

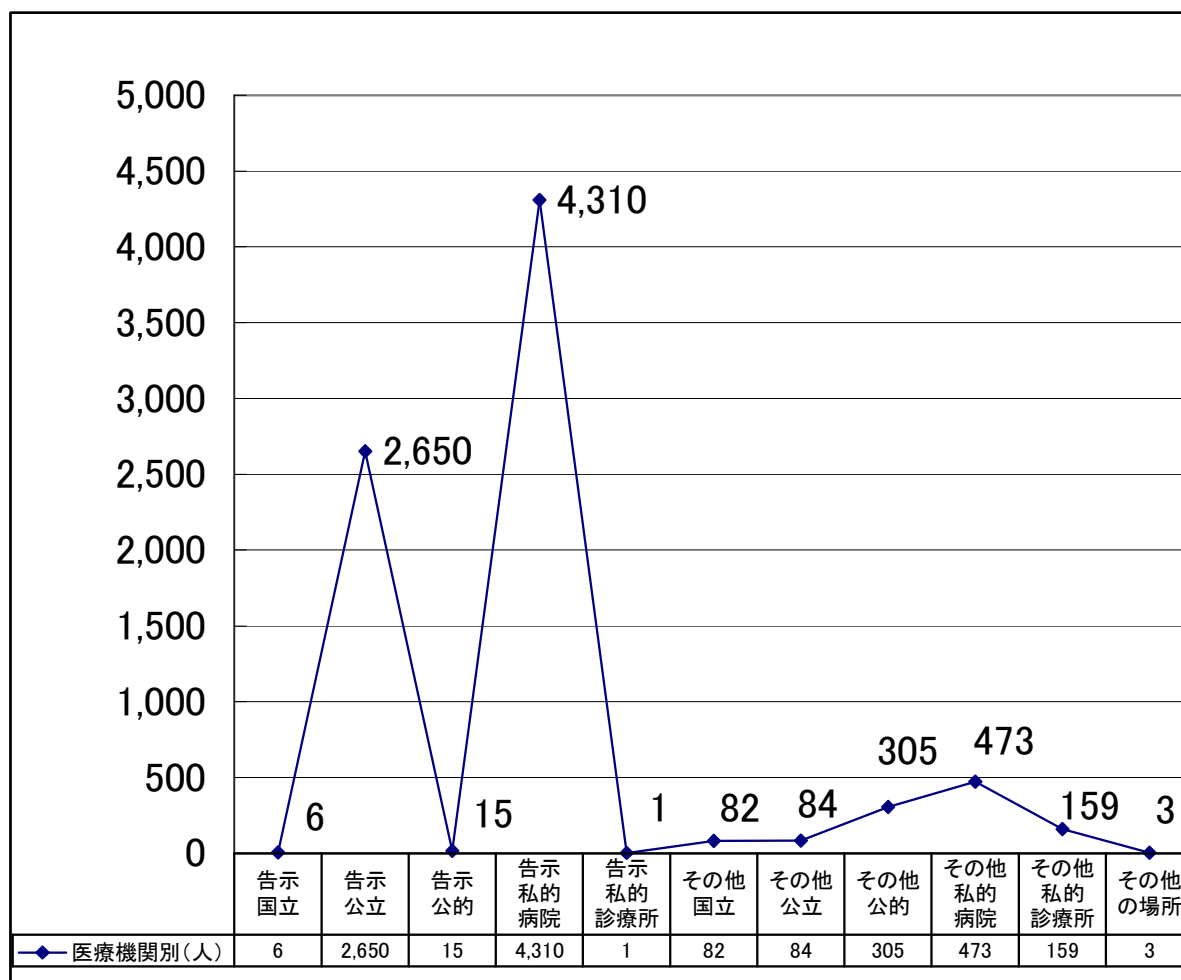
市内の救急告示病院への搬送人員は5,499人で全体の68%を占め、その他の医療機関を含めると5,718人の70.7%が、市内の医療機関へ搬送されたことになる。

※ その他の場所とは、診療のため接骨院等へ搬送した場合、医療機関へ収容目的でヘリポート等へ搬送した場合の人数をいう。

表-4-1 【医療機関別搬送状況1】

区分	救急告示医療機関						その他の医療機関						その他の場所	合計 (人)
	国立	公立	公的	私的		計	国立	公立	公的	私的		計		
				病院	診療所					病院	診療所			
市内	0	2,092	0	3,407	0	5,499	0	0	1	68	148	217	2	5,718
市外	6	558	15	903	1	1,483	82	84	304	405	11	886	1	2,370
合計	6	2,650	15	4,310	1	6,982	82	84	305	473	159	1,103	3	8,088

表-4-2 【医療機関別搬送状況2】



5 年齢区分別搬送状況

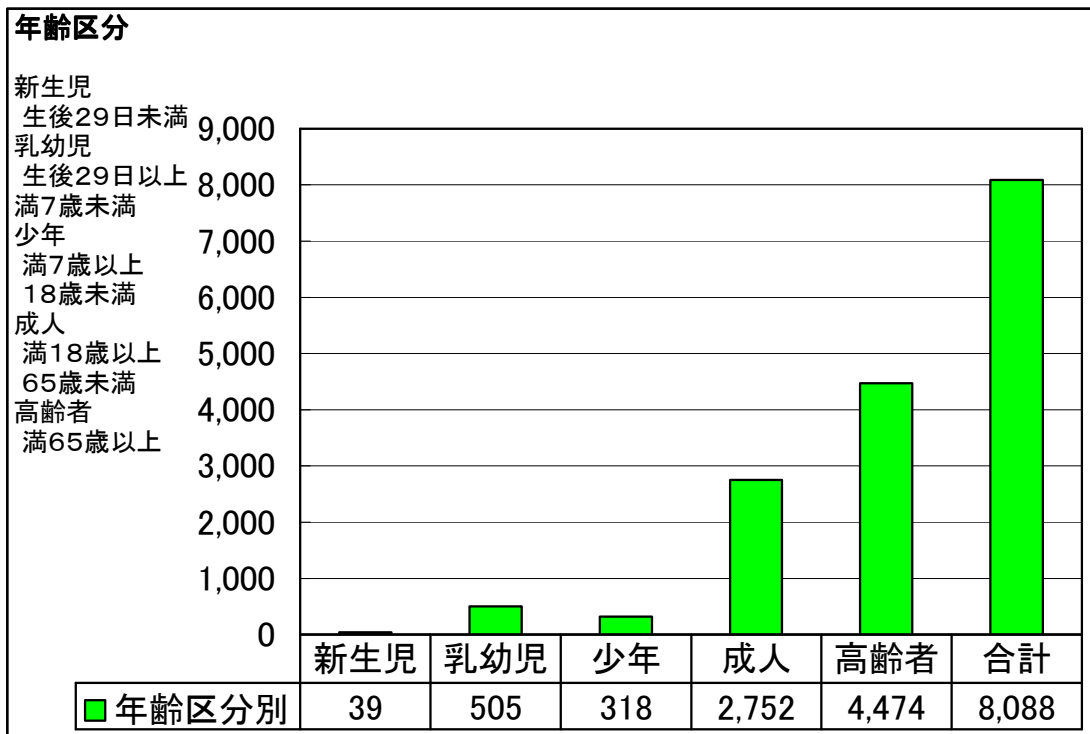
年齢区分別にみると、高齢者が4,474人(55.3%)、成人が2,752人(34.0%)乳幼児が505人(6.2%)、少年が318人(3.9%)、新生児39人(0.4%)となっています。

高齢者の搬送割合が高く、特に急病は、3,028人で、高齢者全体の搬送のうち67.7%を占めている。また、一般負傷についても他の年齢区分から比較からすると高い数値となっています。

表-5-1 【年齢区分別搬送状況1】

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	37	39
乳幼児	0	0	0	33	0	0	176	1	0	277	18	505
少年	1	0	0	77	1	15	65	3	5	144	7	318
成人	7	0	0	484	29	9	271	32	84	1,629	207	2,752
高齢者	0	0	1	156	9	0	910	2	15	3,028	353	4,474
合計	8	0	1	750	39	24	1,423	38	104	5,079	622	8,088

表-5-2 【年齢区分別搬送状況2】



6 月別・曜日別出場状況

月別出場件数は、7月が805件、8月が830件、12月865件と多く、他の月については、600件台から700件台で推移しています。

曜日別では、月曜日、金曜日、土曜日が多く出場している。

表-6-1

【月別出動件数】

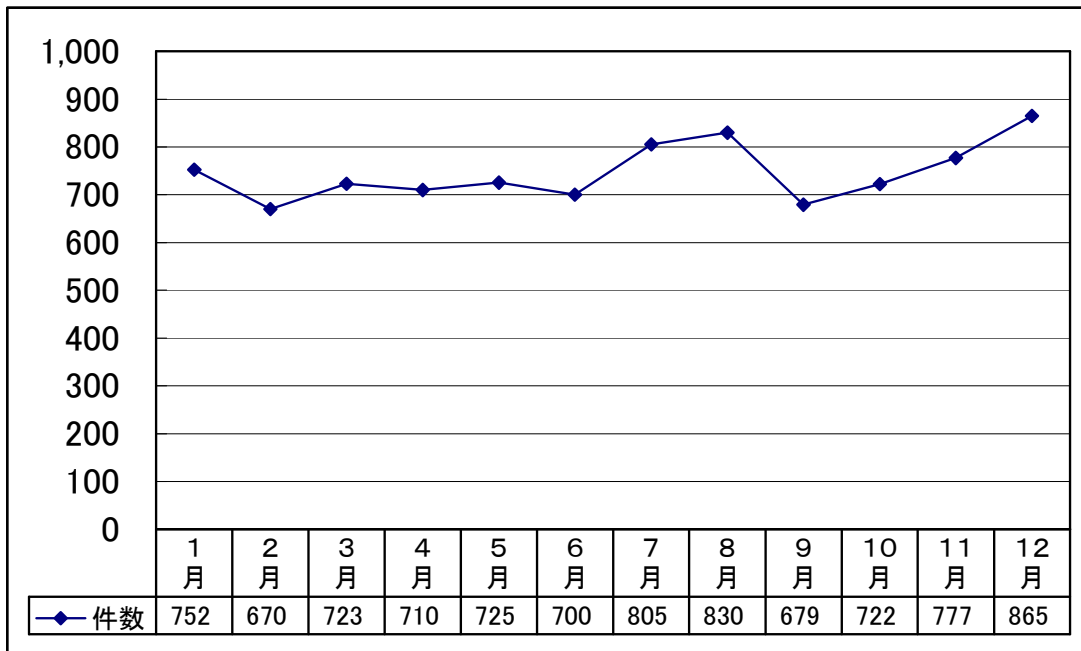
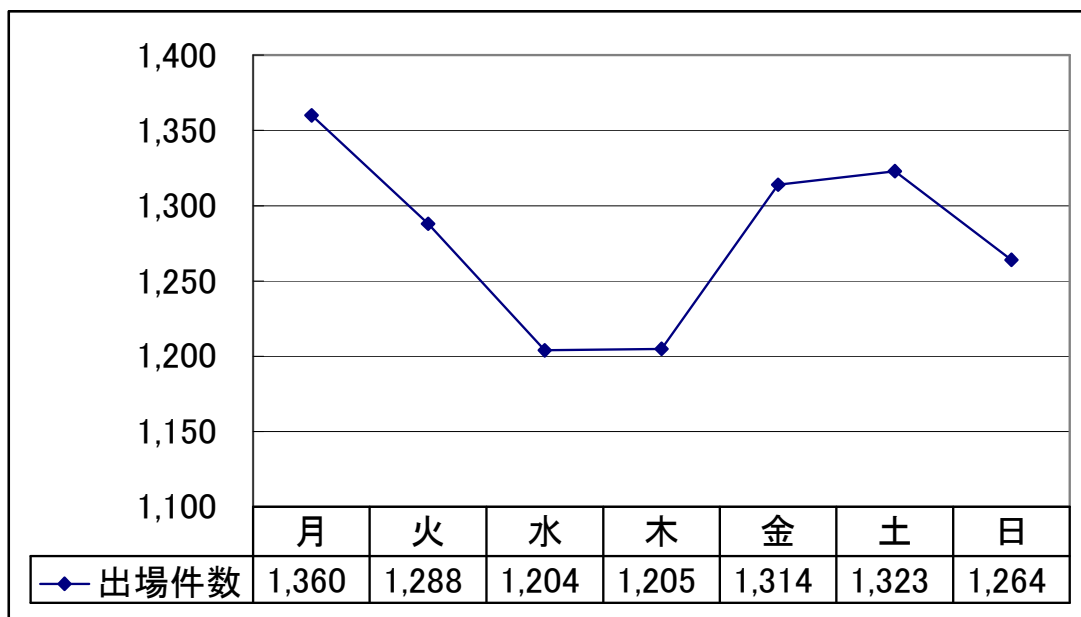


表-6-2

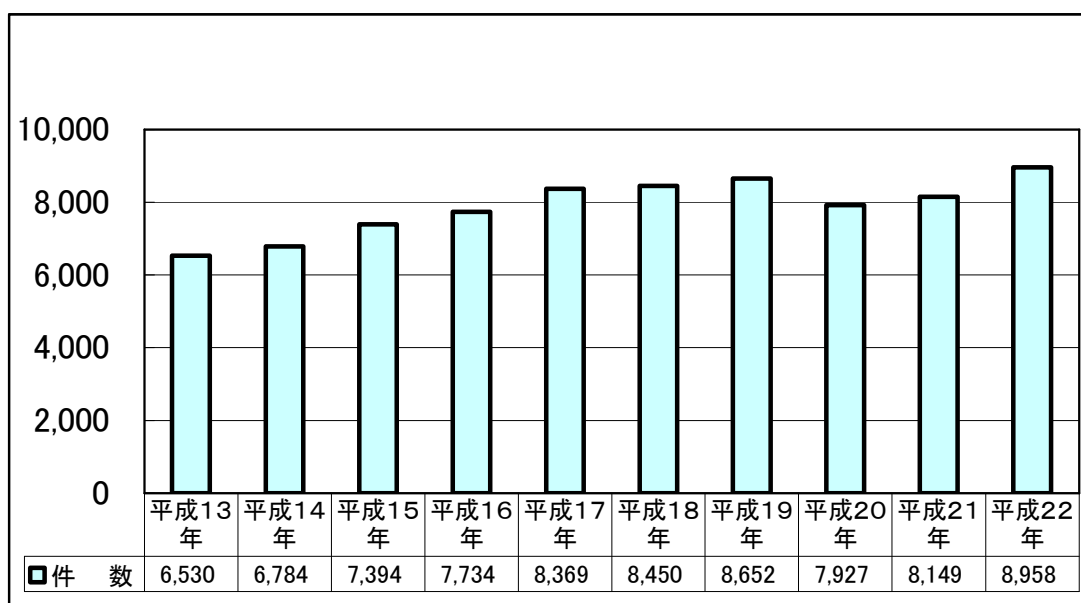
【曜日別出動件数】



7 救急出場件数の推移

平成10年から平成19年までの10年間で、3,253件増加していた救急出場件数が平成20年には725件の減少となったが、平成21年にはふたたび増加し、平成22年は夏の猛暑等の影響要因からか、過去最高の出場件数となりました。

表-7-1 【救急出動件数の推移(過去10年間)】



【急病・交通事故・一般負傷の出動件数(過去10年間)】

救急出動件数の多くを占める、急病、交通事故、一般負傷の過去10年の推移は

下表-8のとおりです。

表-8

	急病	交通	一般	その他
平成13年	3,970	831	1,005	724
平成14年	4,122	811	1,099	752
平成15年	4,629	832	1,079	854
平成16年	4,811	809	1,260	854
平成17年	5,307	822	1,388	852
平成18年	5,288	815	1,409	938
平成19年	5,458	868	1,399	927
平成20年	4,920	789	1,333	885
平成21年	5,177	751	1,372	849
平成22年	5,689	776	1,551	942

※ その他とは、火災、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送及びその他の出動件数を示す。

Ⅲ 救助の概要

1 救助事故種別出動状況

平成22年中の救助出動件数は106件で、前年に比べ4件減少しました。救助活動を行った件数は83件で、前年と比べ3件、救助人員は80人で11人増加しました。

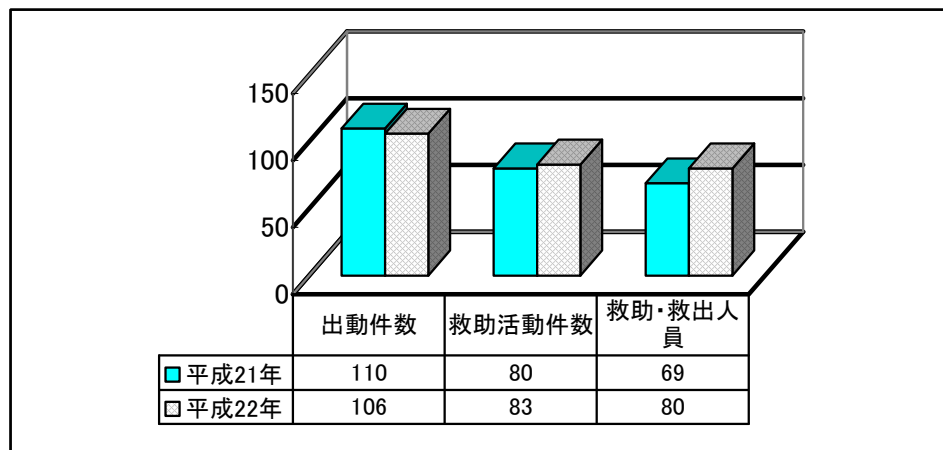
事故種別ごとの救助出動件数をみると、その他の事故・交通事故・建物等による事故が、全出動件数の90パーセントと主な出動となっています。

表-1-1 【前年との対比】

区 分	平成22年 (A)	平成21年 (B)	増 減 (A)-(B)=(C)	増減率 % (C/B)×100	
出 動 件 数	106	110	△ 4	△ 3.6	
活 動 件 数	83	80	3	3.8	
救 助 人 員	80	69	11	15.9	
出 人 員	救 助 隊 専 任	245	225	20	8.9
	救 助 隊 兼 任	275	227	48	21.1
	消 防 隊	752	675	77	11.4
	救 急 隊	347	339	8	2.4
火 災	建 物	6	9	△ 3	△ 33.3
	建 物 外	0	0	0	
交 通 事 故	29	34	△ 5	△ 14.7	
水 難 事 故	2	0	2		
風 水 害 等 自 然 災 害	0	0	0		
機 械 に よ る 事 故	0	0	0		
建 物 等 に よ る 事 故	21	23	△ 2	△ 8.7	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	2	1	1		
爆 発 事 故	0	0	0		
そ の 他 の 事 故	46	43	3	7.0	
1 力 月 平 均	8.8	9.2	△ 0.3	△ 3.3	
発 生 率	4.7	4.9	△ 0.2	△ 4.1	

(注) ※ 発生率については、人口1万人当たりとする。
 (宝塚市推計人口226,106人・平成22年12月現在)
 ※ △は、減少を示す。

表-1-2 【救助出動・活動件数及び救助・救出人員】



2 発生場所別活動件数・救助人員状況

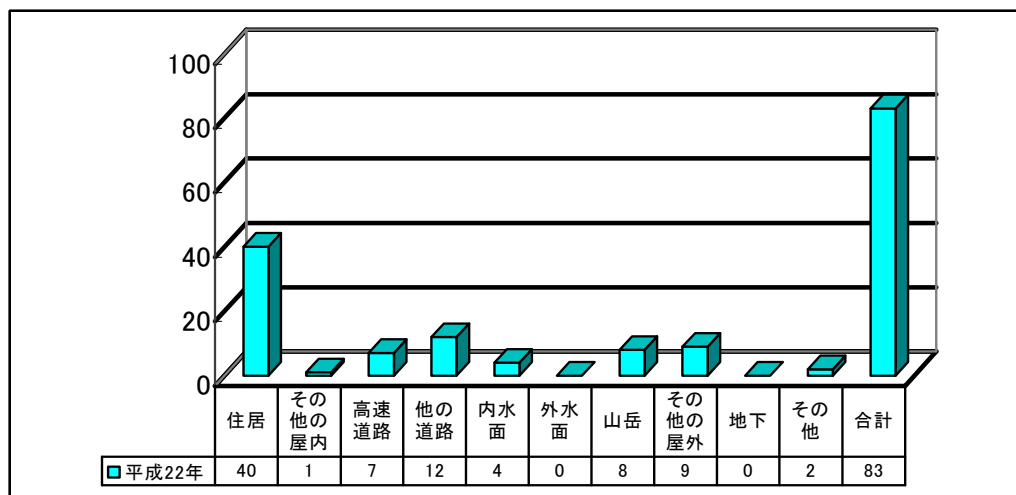
発生場所別活動状況は、屋内で発生した救助活動件数41件が全体の約49%であり、救助人員は34人と、全体の約43%となっています。

事故種別では、その他の事故(住居での閉じ込め、高齢者一人暮らしの安否確認等)が年々増加の傾向にあります。

表-2-1 【発生場所別活動件数・救助人員】

区 分	活動件数	屋 内		屋 外				地 下	そ の 他		
		住 居	そ の 他 の 屋 内	道 路		水 面				山 岳	そ の 他 の 屋 外
				高 速 道 路	他 の 道 路	内 水 面	外 水 面				
火 災	建 物	6 4	6 4								
	建 物 以 外										
交 通 事 故		22	1	7	12				2		
		29	2	12	12				3		
水 難 事 故		2				2					
		1				1					
自 然 災 害											
機 械 に よ る 事 故											
建 物 等 に よ る 事 故		19	19								
		17	17								
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		2	1							1	
		2	1							1	
爆 発 事 故											
そ の 他		32	14			2		8	7	1	
		27	10			2		7	7	1	
合 計		83	40	1	7	12	4	8	9	2	
		80	32	2	12	12	3	7	10	2	

表-2-2 【発生場所別活動件数】





つけましたか？

住宅用火災警報器

**設置の期限は、
平成23年5月31日
です。**

Takarazuka Fire Dept.

宝塚市インターネットホームページ <http://www.city.takarazuka.hyogo.jp>